

<寄附講座開設の概要>

- ✓ 難治性の消化器がん、特に胆・膵がんの予後は極めて不良であり、早期発見や診断率が低いことが課題
- ✓ 内視鏡を含む消化器がんの診断や治療は、医療機器の進歩やAIの登場により、目覚ましく発展している。
- ✓ 今後、胆・膵がんを含む難治性の消化器がんの治療成績向上は必須の課題であり、**これに特化した教育や研究が必要**

大分大学医学部医学科



専任教員の確保
教育・研究の支援

社会医療法人三愛会
大分三愛メディカルセンター



診療の連携

消化器がん先端診療学講座

教育

消化器内科・外科の専修医/研修医、
医学生を対象とした高度な診療教育

- ・ 超音波内視鏡や内視鏡的逆行性胆管膵管造影などの最新の診断技術の習得
- ・ 消化器内科・外科連携による学習プログラムで、広い知識の習得

高度な診断・治療技術を有する
医療人の育成

研究

次世代診断技術の開発

- ・ 消化器がんの新規バイオマーカー開発
- ・ AIを用いた画像診断技術の向上

臨床試験の実施

治療成績向上を目的とした新しい治療法の臨床試験の実施

新規診断・治療法、早期発見法の開発

診療

高度内視鏡診療センター

- ・ 早期発見・診断率向上→予後改善
- ・ 専任教員確保による医療の質向上
- ・ 育成された医師による三愛メディカルセンターとの診療連携

難治性がんに対する質の高い医療により
地域医療・地域住人への貢献